

軸端末完成品・精密ボールねじ「SDA-VZ 形」の受注を開始 ～コンパクトなナット外径で装置の小型化を実現～

THK株式会社(東京都港区 代表取締役社長:寺町 崇史、以下、THK)は、軸端末完成品・精密ボールねじ「SDA-VZ 形」の受注を開始いたします。

「SDA-VZ 形」は、ねじ軸の端末形状をサポートユニットに合わせて標準化した精密ボールねじです。軸端は加工済みのため短納期対応が可能です。くわえて、高速性、コンパクト形状を有し、お客様からの幅広い要求にお応えするため、計 151 形番(ねじ軸径 $\phi 10 \sim \phi 25$)の豊富なバリエーションを取り揃えております。

同時に、これまでのサポートユニットと比較し、ボールねじの更なる低軸心化を実現するサポートユニット「EK-L/EF-L 形」を新たにラインナップしました。「SDA-VZ 形」と組み合わせることで、組付け部周辺の設計が容易になり、大幅な設計工数の削減が可能です。半導体製造装置から各種搬送装置まで、幅広い分野の自動化設備のコンパクト化に貢献いたします。

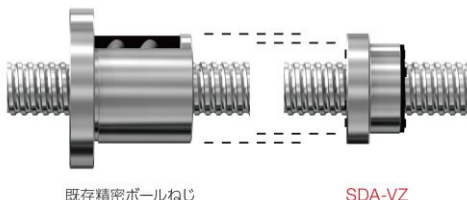


精密ボールねじ「SDA-VZ 形」、サポートユニット「EK-L/EF-L 形」

THKはこれからも、一般産業機械から精密機械、そして高精度な工作機械まで、幅広い装置の高性能化に貢献してまいります。

特長

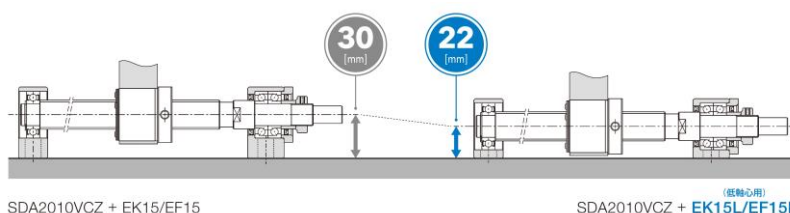
- **安定したトルクで高速使用が可能**
ボールを接線方向にすくい上げる方式を採用することで、最高回転数 $5,000\text{min}^{-1}$ (DN 値: 10 万)を実現し、長期間での高速駆動でも安定したトルクを得ることが可能です。
- **コンパクト形状で省スペース設計に最適**
従来の精密ボールねじと比較して、外径比が最大 30%小さくなるため、装置のコンパクト化に貢献します。



既存精密ボールねじ

SDA-VZ

- **低軸心用サポートユニットに対応**
これまでのサポートユニットと比較し、ボールねじの更なる低軸心化を実現する構造です。装置全体のコンパクト化だけではなく、LM ガイドのサイズダウンや LM ガイド取付部(ベース部)の加工を減らすことにも寄与いたします。



SDA2010VCZ + EK15/EF15

SDA2010VCZ + EK15L/EF15L (低軸心用)

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

THK株式会社 マーケティング PR 部 担当:中川 / 石川 TEL:03-5730-3845 E-mail: thk-sp@thk.co.jp